

# 教育委員会

## コラム Vol.23

### 教育長室の窓から

#### 願いは叶う



私の好きな言葉で、校長を務めていた際に、朝の会や様々な機会に子どもたちに話していた格言？言葉？があります。

心が変われば行動が変わる 行動が変われば習慣が変わる

習慣が変われば人格が変わる 人格が変われば運命が変わる

ご存じの方も多いかと思いますが、野球で活躍した松井秀喜さんの高校時代の恩師である山下智茂さんが、練習場などに掲げていたものとして有名な言葉です。よく「願いは叶う」と言われていますが、自分が強く思えば叶う、しかし念じるくらい強く思わなければ叶わないようで、最終的には、自分の運命は自分の心の中にあるそうです。別な言葉では、「素直な心」に置き換えられます。素直な心を持っていれば、人の言っていることを虚心坦懐に聞け、実行でき、そのまま自分の成長につながるそうです。

これは、学校の日々の教育活動にもつながります。「いろいろなことに素直に感動できる。それは豊かな感性を生み出す。」体験活動（直接体験）も大切ですが、何と言っても毎日の授業が最も大切です。本町の先生方は、日々の授業で小さな「成功体験」を積むことを大切にしています。小さな成功、何かができるようになった体験（成長）、その積み重ねが、自分を信じることにつながり、次の大きな成功（成長）を生むと思います。これは、子どもたちだけでなく、私たち大人にも言えることです。

ところで、以前、一緒に仕事をした鈴木淳一さん（元福島県教育委員会教育長、元福島県生活環境部長）に、よく「心が変われば、体も動く」と言われ「授業で、子どもたちが、課題に主体的に向き合い、一人一人がよさを発揮しながら解決し、自信をさらに深め、また新たな課題を見出し、解決しようとする姿を見なさい」と指導を受けましたことを思い出します。この時期、ちょっと一休みし、自分を振り返ってみてはいかがでしょうか。（授業を振り返る、行動を振り返る、生活を振り返る・・・）

#### 教育長の

#### ちょっといい話

#### 懐かしい東北の歌声



「こぶし咲く あの丘 北国のあゝ北国の春 季節が都会では わからないだろうと・・・」（北国の春）

「嫁に来ないか ぼくのところへ さくら色した 君がほしいよ・・・」（嫁に来ないか）

過日、町文化センターに懐かしい歌声が響きました。岩手県出身の千 昌夫さん（陸前高田市）と新沼謙治さん（大船渡市）が出演されたコンサートでした。千 昌夫さんの「北国の春」は、よく東北の人たちが口ずさむ歌で、お風呂などで歌われていましたので、私も親しみがありました。他にも「星影のワルツ」が大ヒットしました。

ところで、感動したのは新沼 謙治さんです。大船渡市出身ですので、本町とも銀河連邦の関わりがあります。当日は、雨が降っていましたが、コンサートが始まる前に、もくもくと総合グラウンドを走る新沼さんの姿がありました。職員も驚き、まさかと「新沼 謙治さんですか」と声をかけたほどです。コンサート前のルーチンなのか、昭和31年生まれの方とは思えない走り姿勢（前向きさ）に驚きと感動を得ました。また、新沼さんは、NHK東日本大震災の花は咲くプロジェクトの一員として、「花は咲く」東日本大震災復興支援チャリティーソングに参加され、被災した私たちを勇気づけてくれました。

東北を代表するお二人の歌声に、懐かしさとともに元気づけられた方々が多かったと思います。

